

日本語を母語としない子どもと保護者の高校進学ガイダンス 報告書



家庭の理由などで外国から学齢期に来日した子どもたちは、日本語での学習が十分身につけていない状況で、高校受検という高い壁にぶつかります。そのような子どもたちの高校進学を支援するため、今年度も高校進学ガイダンスを開催しました。

会場には、中国、フィリピン、ペルーなど10か国の子どもや保護者121人が集まり、外国人特別選抜を実施している高校や、日本で受検資格を得るための資格認定の説明などを、熱心に聞いていました。

また、参加者が説明を理解したり、相談したいことを十分に話せるように支援するため、会場運営スタッフ12名と、通訳20名がボランティアとして参加してくれました。

ガイダンスで配布した資料は協会ホームページに掲載していますので、ぜひ学校等でご活用ください。相談窓口など、関係機関の問合せ先も記載しています。

■ 実施日：平成26年8月9日(土) 13:30～16:30

■ 会場：ソニックシティビル 4階市民ホール（JR大宮駅西口）

■ スケジュール：

時間	内容	担当
【オリエンテーション】		
13:30～13:40	開会あいさつ	
13:40～14:00	高校進学について	教育局高校教育指導課
14:00～14:20	高校に進学した先輩達の体験談	岩槻高校と戸田翔陽高校に在学中の高校生
14:20～14:30	相談ブースのご案内	司会
【相談コーナー】		
14:40～16:30	相談ブースでの個別相談	

■ 主催：(公財) 埼玉県国際交流協会、(埼玉県国際課、公財) 埼玉県産業文化センター

■ 後援：埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会

■ 参加費：無料

■ 参加者：121人

＜内訳＞	児童生徒（中学生や、母国で卒業してから日本に来た人など。 親だけが来たケースも含む）	53人
	〔出身国 中国、フィリピン、ペルー、タイ、韓国、ブラジル、パキスタン スペイン、スリランカ、ベルギー（10カ国）〕	
	保護者や家族など随行者	60人
	その他の参加者（学校の教員など）	8人

■ スタッフ：52人 ※協会と国際課を除く

＜内訳＞	運営スタッフ	12人
	通訳	20人（県教育局国際交流員2名含む）
	高校生	4人（体験談発表者2名、高校生ブースのみ参加2名）
	高校の教員	10人
	県教育局高校教育指導課	1人
	県教育局県立学校人事課（資格認定の説明）	1人
	県教育局財務課（奨学金の説明）	2人
	県教育局義務教育指導課	1人
	県教育局義務教育指導課帰国児童生徒等支援アドバイザー	1人

■ 会場の様子



前半のオリエンテーションでは、
言語別の12のテーブルに分かれて、高校受検について説明を受けました。
各テーブルには通訳と運営スタッフがおり、参加者が理解できるよう支援します。



受検の体験談を話してくれた、中国出身の高校生。
日本で受検をする外国出身の子どもは、周囲に理解者がいないため
孤立していることも多いので、同じような立場の先輩の話は
励みになったという声がたくさんありました。



後半の相談コーナーでは、高校の先生に直接相談できます。
また、県教育局の先生に高校生活全般のことなども相談できます。
母国で中学校を卒業してから来日した子どもたちも多いので、
資格認定のコーナーが特に人気で、行列になっていました。



高校生ブースでは、体験談を発表してくれた2人を入れた、
4人の高校生が相談を担当してくれました。
参加した子どもたちは、高校で勉強についていけるか、
どんな部活があるか、友達はできるかなど、様々な相談をしていました。